

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	超低エネルギー食療法下の肥満症患者に対する GLP-1 受容体作動薬の減量効果および体組成変化の検討 (研究倫理委員会承認番号：752)
当院の研究責任者 (所属)	石橋 亮一 (糖尿病・内分泌・代謝内科)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	肥満症では糖尿病、脂質異常症、高血圧症などの代謝異常や、心血管疾患、非アルコール性脂肪肝疾患などの合併リスクが高く、食事・運動療法や薬物療法による減量を必要とします。とくに BMI 35 kg/m ² 以上の高度肥満症では、1 日のエネルギー摂取量を 800 kcal 未満に抑える超低エネルギー食療法が選択肢となり、短期間で大きな減量効果が期待できます。しかし、高度のエネルギー制限による減量では、骨格筋量の減少とそれに伴うサルコペニアやフレイル、耐糖能の増悪、体重再増加が危惧され、体組成を維持した減量が課題です。糖尿病治療薬である GLP-1 受容体作動薬のうち、リラグルチドやセマグルチド、また、GIP/GLP-1 受容体作動薬のチルゼパチドでは、体組成の改善を伴う減量効果が報告されています。そこで、本研究は入院下に超低エネルギー食療法を行う肥満症患者に対して、GLP-1 受容体作動薬の併用が減量効果および体組成に及ぼす影響を明らかにすることを目的とします。
調査データの 該当期間	西暦 2019 年 1 月 1 日から西暦 2023 年 12 月 31 日まで

研究の方法 (対象となる方)	該当期間内に君津中央病院 糖尿病・内分泌・代謝内科で減量目的の入院を行なった肥満症の方
研究の方法 (使用する情報)	以下の臨床情報を診療録より取得し、GLP-1 受容体作動薬投与の有無により比較・検討します。 ・年齢、性別、既往歴、併存症、投薬歴、アレルギー歴などの患者背景情報 ・入院中あるいは入院前後に測定された身長、体重、血圧、血液・尿検査（HbA1c、血糖値、C ペプチド、TG、HDL-C、LDL-C など）、体組成、CT 検査データ等
資料・情報の他機関 への提供	本研究の成果は、試験担当者である石橋らによってまとめられ、令和5年度開催予定の肥満に関連する学会で公表される予定である。また同年度内を目処に学術雑誌に公表する予定である。
個人情報の取扱い	試験実施に係るデータを取り扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮する。試験の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにする。試験の目的以外に、試験で得られた被験者データは使用しない。あらかじめ被験者の同意を得ずに、個人情報を取り扱わない。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究を行うために必要な研究費用は、日常診療で得られたデータを収集するのみであるため生じない。
お問い合わせ先	君津中央病院 石橋 亮一 （糖尿病・内分泌・代謝内科） 電話 0438-36-1071
備考	